

ガラスのうさぎ (2005)

メディア 映画 アニメ

ジャンル ドラマ 戦争

製作国 日本

色彩 Color

時間 84分

初公開日 2005/05/14

公開情報 映画「ガラスのうさぎ」製作委員会

【キャッチコピー】

少女は生きようと思った、
愛する家族のために！

【解説】

戦争の悲惨さを真摯に綴り、平和と命の尊さを静かに力強く訴えて世代を超えていまに読み継がれる高木敏子原作のロングセラー『ガラスのうさぎ』を、終戦60周年記念作品として長編アニメーション化。東京大空襲に見舞われた12歳の少女の目を通して、戦争の真実の姿を描き出していく。監督は「もも子、かえるの歌がきこえるよ。」の四分一節子。

太平洋戦争末期の東京。下町に暮らす少女、敏子は敗色濃厚で物資も乏しい厳しい環境の中、家族とともに一生懸命生きていた。しかし昭和20年3月10日、東京の上空に無数のB29が飛来、密集した木造家を焼き払うことで一般市民の大量無差別殺戮を目的とした大規模な焼夷弾爆撃が実行に移された。この爆撃で敏子たちの住む下町一帯は火の海となり、敏子の母と2人のかわいい妹もその犠牲となった。敏子は焼け跡から、炎で溶けて変形したガラスのうさぎを掘り出し、改めて戦争の恐ろしさを実感する。その後敏子は、父と2人で疎開先へと向かうのだが…。

【クレジット】

| | | |
|------------|------------------------------|------------------|
| 監督 | 四分一節子 | |
| アニメーション演出 | 棚橋一徳 | |
| アニメーション制作 | マジックバス | |
| 企画プロデューサー | 桂壮三郎 | |
| 製作プロデューサー | 出崎哲 | |
| 原作 | 高木敏子 | 『ガラスのうさぎ』（金の星社刊） |
| 脚本 | 小出一巳 末永光代 | |
| キャラクターデザイン | 四分一節子 | |
| 総作画監督 | 小林ゆかり | |
| 作画監督 | 小林ゆかり 松坂定俊 山本径子 松下清 | |
| 美術監督 | 小林七郎 | |
| 色彩設定 | 西川裕子 | |
| 音響監督 | 清水勝則 | |
| 音楽 | 大島ミチル | |
| 主題歌 | 新妻聖子 | 『ガラスのうさぎ』 |

声の出演

| | |
|----------|----------|
| 最上莉奈 | 江井敏子 |
| 竹下景子 | 江井ヒデ |
| 原康義 | 江井竹夫 |
| 神谷浩史 | 江井恒夫 |
| 福山潤 | 江井行雄 |
| 岡珠希 | 江井信子 |
| 川田妙子 | 江井光子 |
| 武内健 [声優] | 川島晴喜 |
| 土井美加 | 西山シゲ |
| 谷育子 | 西山のお婆ちゃん |
| 児玉真菜 | 君代 |
| 磯辺真沙子 | 秋保の伯母さん |
| 五味万里子 | 幸子 |
| 八十川真由野 | 加代子 |
| 安谷屋さぎさ | 真理 |